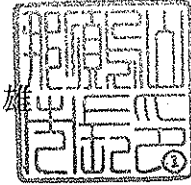




那烏管第 23号
平成19年5月1日

国土交通省道路局長 様

那須烏山市長 大谷 範雄



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について(回答)

日頃から道路行政に対するご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

標記のことについて、平成19年4月2日付、国道企第114号貴職名で依頼のありました「中期的な計画の作成に対する意見」を別紙のとおり作成しましたのでご回答します。

今後ともご指導賜りますようお願い申し上げ、回答報告とさせていただきます。

中期的な計画の作成にあたってのアンケート調査（回答）

那須烏山市は平成17年10月1日に旧南那須町、旧烏山町が合併して誕生した市です。当市は栃木県の東部に位置し、県都宇都宮市から約29kmの距離にあり、豊かな自然環境に恵まれ、歴史と文化が息づく「活力とやすらぎの交流文化都市」です。

産業振興としては、企業誘致の推進とそれによる雇用機会の拡大、定住人口の増加を目指しています。

都市基盤整備については、合併のメリットを最大限に生かし、特例債を使って道路網の整備を進め、10年間の優遇期間のうち前半については、その多くを道路財源に充てます。それだけ整備が遅れています。

市政懇談会での市民の要望が一番多いのは道路整備や側溝の整備です。この市民の声を施策に反映させるのは当然のことで、それが住民の目線に立った行政の推進と考えております。

今後の道路政策や道路の整備・管理についてのご意見をお伺いしたい事項。

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

①幹線道路の国道・県道の整備促進を国や県に強く要望していきます。特に、主要地方道路宇都宮烏山線は、本市にとって国道以上の大動脈です。整備すれば生活道路としての安全性はもちろんのこと、県都宇都宮市への時間短縮、観光の振興と交流人口の増加、経済の発展など計り知れない効果が期待されています。

②合併した二町間の連絡道路の不備により、住民の融和融合の障害になっており、このため、地域の一体化を醸成することが本市の緊急の課題となっています。

③通学路を整備することにより、児童・生徒の通学時の安全を確保するとともに安全で安心な道路ネットワークを推進します。

④新しいまちづくりの試みを推進することにより、人口の定着化と都市住民との交流を深め商業、工業、農林業、観光と調和のとれた商店街等の活性化を図り人口の定着化と地域のにぎわいの復活を目指します。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

①市内を効率的に移動できる整備方針として、都市軸・活力軸・交流軸としての道路網を整備し、日々の暮らしに欠かせない安全で利用しやすい生活道路の整備や環境にやさしい道路整備を推進します。

②生活に密着している道路の整備については、市単独事業として「那須烏山市ふれあいの道づくり事業」という名称で道普請に取り組んでいます。事業内容は、道路整備に必要な材料や機材の借上げにかかる費用を市が負担し、労力は地元の住民が奉仕するという協働の事業です。道路愛護の醸成にも役立っています。

3. その他道路政策や道路整備・管理全般に関する意見

①地方の道路整備はまだ道半ばです。道路特定財源の使命はまだ終わっておりません。道路は渋滞解消だけでなく、災害から生命や財産を守る役割もあります。地域格差を少しでも解消するためには、地方における道路整備がまだまだ必要なのです。

②橋梁の耐震対策及び長寿命化への支援策を構築されたい。

③既設市道の舗装修繕等の維持費に充当できる財源として、道路特定財源の一部を市町村に移譲されたい。

④公共交通機関のない地域では、区画線の引き直しや交差点内のカラー表示等高齢者も安全に運転しやすいよう配慮した道路づくりをしたいと思っています。

以上のとおり、普段考えていることなどを記述しましたのでよろしくお願い申し上げます。

平成19年5月1日